

1. 今日は、預言者エリヤさんのお話しです。預言者っていうのは、神様の言葉をみんなに伝える役目を持った人のことです。エリヤさんは、昔々の北イスラエルの預言者でした。神様のために、大活躍した人なんですよ。

2. この時代の北イスラエルの王様は、アハブという人でした。このアハブ王は、とっても悪い王様だったんです。そしてそして、もっと悪いのが奥さんのイゼベル。

イゼベル「ちょっとあなた、もっと悪いことしちやいましょうよ。あたしたちはこの国で一番エライのよ。何をやったっていいのよ。もっともっと悪いこと、楽しいことをいちやいましょうよ！」

アハブ王「そうじゃな、わしは一番エライのじゃ。何でも自分の思う通りじゃ。わっはっはっはっ！！」

3. そこで預言者エリヤさんが、神様のことばを語りました。

エリヤ「王様、神様は怒っておられます！これからあと何年も、雨が降りませんよ。」

4. それを聞いた王様たちは、怒りまくりました。

イゼベル「ちょっとあなた、あんなこと言わせておいていいのっ？ とっととやっつけちやいなさいよっ!!」

アハブ王「そうじゃなっ、頭にきたぞっ！ よ〜っし、見てろよ、絶対に許さんからなっ!!」

5. でも神様は、危険がせまったエリヤさんを助けてくださいました。誰にも見つからない川のほとりに逃がしていただき、雨が降らなくても水に困らないようにしてくださったんです。そして、ちゃ〜んと食べ物だって、用意してくださったんですよ。

ところでみんな、神様はどうやって食べ物を用意してくださったんだと思う？

6. そう、カニタロウくんが運んでくれたんだね。わ〜っ、おいしそうなオニギリ・・・じゃないよねっ！
食事を用意したのは、カニタロウくんじゃありません。

7. そうです、みなこさんがラーメンを作ってくれたんですね。頑固なこだわりラーメン屋さんのみなこさんは、エリヤさんにもラーメンを分けてあげたんだねえ・・・って、そんなわけないよねっ！！

8. はい、これが本当の答えですね。カラスが食べ物を運んできてくれたんです。神様はカラスを朝と夕方につかわして、パンやお肉を運ばせたんです。

9. 不思議なことだよ。でも、こうしてエリヤさんは、食べ物にも、飲み物にも、何にも困ることなく、生きることが出来ました。

10. 「あなたの道を主にゆだねよ。主に信頼せよ。主が成し遂げてくださる。」 詩篇37:5

神様は、私たちを助けてくださいます。だから、困った時、悲しい時、つらい時は、神様を呼び求めましょう。そうしたら神様は、色々な方法で、助けを与えてくださるのですよ。

私たちもエリヤさんのように、神様を信じていきましょうね。

おしまい。